



よこはま

2020年 9月23日

第 223 号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市民文化会館 402号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護



高橋議長から林横浜市長へ要請書を渡す

横浜地域連合高橋議長は冒頭、「新型コロナウイルス感染症対策のため在宅勤務が増え、働き方も大きく変わってきている。実際に在宅勤務が多くなると、会社に行かなくても仕事をすることが可能になる一方で、果たして在宅勤務で100%のパフォーマンスを発揮できるのかという議論、また通勤手当の見直しや在宅時の光熱費の手当など様々



挨拶をする高橋議長

横浜地域連合は、9月1日(月) 高橋議長以下五役9人が出席し、連合神奈川とともに「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出した。

「安心安全安定の市政」「住みやすい横浜」をめざして 「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出

ならぬと考えている。今回の提言は、各地区連合、産別、構成組織から出された意見を盛り込み、60項目の課題について取りまとめた。例年、これらの要望に対して真摯にご対応いただいている。今回についてもしっかりとご検討いただき、政策実現に向けての対応をお願いしたい。」と挨拶した。

次に林横浜市長が「頂戴した政策・制度要求と提言については、大変深い議論を重ねてまとめていただいたと承知しており、しっかりと受け止めさせていただく。新型コロナウイルス感染症により社会状況が変化していく中で、必要な施策を見極めていくためには、皆さんの声が貴重である。今後とも現場に働く皆さんをしっかりと支えしていきたいと思っ

立憲・国民フォーラム市会議員団への要請行動を行う!



今野団長へ要請書を渡す高橋議長

8月4日(火)、横浜地域連合は「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」の実現に向けて、高橋議長以下五役、各地区連合代表者、政策委員で立憲・国民フォーラム市会議員団への要請行動を行った。

要請行動には横浜地域連合から17人、立憲・国民フォーラム市会議員団からは今野団長をはじめ18人が出席した。進行は麓理恵政調会長が行い、両代表挨拶の後、高橋議長から今野団長へ要請書が提出された。続いて加賀谷事務局長が「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」の概要について説明し、その後意見交換が行われた。「フードバンク活用の現状」「地球温暖化、オゾン層の破壊の課題」「河川の氾濫防止対策」「新交通システム」など、多方面から政策要求に対する質問や意見が交わされた。

政策の実現に向け、あらためて横浜地域連合と立憲・国民フォーラム市会議員団との連携を強化することを確認し、要請行動を終えた。



要請書を確認する林市長

策の説明では、秋山議長代行から格差社会問題と安心安全な街づくりを視座に、①旧上瀬谷通信施設の跡地の利用、②新型コロナウイルス感染症への対策、③市内傾斜地の安全対策についての確認をした。林市長からその3項目について「旧上瀬谷通信施設については、引き続き地権者とまちづくりの実現を目指して検討を進めるとともに、事業の進捗に応じて市民に向けた説明会を開催するなど、意見を伺いながら進めていく。新型コロナウイルス感染症に関しましては、国や県、医療機関の皆様と連携し、感染症対策と社会経済活動の両立に全力を尽くし、市

民の安心・安全な暮らしを守っていく。その中で、行政検査として実施するPCR検査については、検査料の公費負担を実施している。道路や公園等の崖については、定期的な点検や調査の結果に基づき、順次対策を進めていく。民有地の崖地については、対策が必要な場合には所有者へダイレクトメールによる助成金の周知、改善の働きかけを行っている。助成金については限度額の引き上げ、対象となる崖地の高さ要件の緩和など、所有者負担の軽減を図っている。」とのコメントが述べられ、要請行動が終了した。回答は12月中旬を予定している。

2つの県議団へも要請行動を実施!!

横浜地域連合は構成組織組合員から寄せられた「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」の中から、道路交通課題に関する改善要望の実現に向けて、県議団へ要請行動を行った。



近藤団長、曾我部県議へ要請書を渡す高橋議長

高橋議長が概要を説明した。その後行われた意見交換の中では、要望の中には「信号機の設定」についての課題「自転車」と歩行者の安全な通行について「横断歩道での一時停止の取り締まり」などの要望に対する県警対応の現状を始め、様々な情報共有がなされた。

8月31日に、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団へ要請行動を実施した。横浜地域連合からは高橋議長をはじめ五役の7人が参加し、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団からは、近藤団長をはじめ4人の議員が参加した。それぞれを代表して高橋議長、近藤団長が挨拶し、要望書を手交した。加賀谷事務局長による「2021年度に向けた神奈川県警に対する道路交通課題改善要望」の概要説明の後、意見交換が行われた。その中には「信号機の設定」についての課題「自転車」と歩行者の安全な通行について「横断歩道での一時停止の取り締まり」などの要望に対する県警対応の現状を始め、様々な情報共有がなされた。

9月14日には、立憲民主・民権クラブ神奈川県議会議員団への要請行動を行った。横浜地域連合からは高橋議長をはじめ五役、各地区連合代表者、政策委員13人が参加した。立憲民主党・民権クラブ県議団からは、松本団長をはじめ、14人の県議が参加した。高橋議長と松本団長の両代表挨拶の後、要望書を手交し、個々の内容については加賀谷事務局長が概要を説明した。その後行われた意見交換の中では、要望の中には「信号機の設定」についての課題「自転車」と歩行者の安全な通行について「横断歩道での一時停止の取り締まり」などの要望に対する県警対応の現状を始め、様々な情報共有がなされた。

方々からも多数苦情が寄せられている要望もあり、それに対しては警察が様々な手立てを講じているものの、なかなか解決に至らないため、他の省庁との連携も模索している状況だという情報もいただいた。



松本団長へ要請書を渡す高橋議長

「要望についてはしっかりと県警にお伝えし、その実現に向けて努力する」旨の挨拶があった。

「第7回多聞善塾(横浜版)」を開催! 講師に立憲民主党衆議院議員

横浜地域連合は9月3日(木)、第7回多聞善塾(横浜版)を横浜市技能文化会館において開催した。



参加した五役と地区連合代表

第7回目となる今回は、立憲民主党衆議院議員の篠原豪議員(神奈川第1区)、山崎誠議員(第5区)、青柳陽一郎議員(第6区)、中谷一馬議員(第7区)の4人を講師にお招きした。横浜地域連合からは高橋議長をはじめ五役、各地区連合代表者が出席した。

冒頭、高橋議長は挨拶の中で「我々も解散総選挙に向けて準備を進めていかなければならない。今回の多聞善塾では政策をお聞きすることに加え、今後横浜地域連合と連携していただけるのか、あらためて確認させていただきたい。」と述べた。篠原議員からは、前回選挙のお礼、コロナ対応や消費税等についての政策、そして今後も地元や横浜地域連合と力を合わせてやっていきたいとの思いをお話いただいた。山崎議員からは、政権交代した当時の民



挨拶をする高橋議長

主党政権での反省、エネルギー政策についての思い、そしてその政策実現に向けて横浜地域連合の皆さんと一緒に頑張っていきたいとお話いただいた。青柳議員からは、これまでの横浜地域連合とのつながり、さらに議長挨拶を受けて、あらためて横浜地域連合との関係を作り直していきたいとの思い、合流新党についての情報をお話いただいた。中谷議員からは、国の

最後にお話いただいた。最後に、的場議長代行が「連携していただくためには、互いに密接なコミュニケーションが不可欠。地域からの要望をしっかりと受け止め、民主主義を健全な形で育む政治が求められている。横浜地域連合としても中央の政治情勢を見極めながら、政治闘争への取り組みの整理を図っていく。」と述べて閉会した。



山崎議員



篠原議員



中谷議員



青柳議員

コラム「るーぶ」

暑さもピークを過ぎ、少しずつ秋に近づく季節になりました。皆さん始めまして。電力総連 東電 労組 小杉 日出夫と申します。秋と言えば何を連想されますか。行楽の秋、スポーツ・食欲の秋等々ですが、季節は暑くも無く寒くも無く、過ごしやすい時期に各地の名所へ観光に出掛けて行きたいところです。しかし、コロナ対応の三密を避けるために出掛けられないのが現状ではないでしょうか。それでは、コロナ対応の一環として、免疫力を上げるためにスポーツはどうでしょうか?人との距離を保ちながら行うジョギング等の有酸素運動も有効です。また、食欲に繋がるところでは、免疫力アップを兼ねての「腸活」も有効です。何よりも美味しい食べ物が沢山出回る時期なのでお薦めです。コロナに対しては、体の免疫力アップが有効な対策の一つです。少しでもコロナ禍が落ち着き、日常が戻ることを祈念しつつ、今は中止を余儀なくされている各種行事が再開されることを楽しみに待っています。



事務局次長 小杉日出夫